

2019 年度湯前町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合が約 57%で、転作作物に占める飼料作物の面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいない。

しかしながら、主食用米の需要が減少する中で、他の作物の作付けに転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稻作付面積の維持が課題となっている。

その他、麦、大豆においては、排水不良などにより単収の低下を招いており、作付けが減少しているが、麦、大豆、そば、飼料作物については二毛作を推進し、飼料作物、飼料用米については耕畜連携も併せて推進していく。

2 作物ごとの取組方針等

町内約 500ha の水田について、適地適作を基本として産地交付金を活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

特に飼料作物を転作作物の主体として位置付け、生産コストの効率化等に取り組ながら、あわせて、農家所得の確保の観点から地域振興作物の作付を推進することで、魅力ある産地づくりを推進する。

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって、安心安全なお米作りを推進するとともに前年の需要実績や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

飼料用米の生産拡大にあたっては、今後も産地交付金を活用し、多収品種の導入推進及び団地化の推進を図り、2021年度には2.0haの作付けを目指す。

イ WCS用稲

主食用米の需要減少が見込まれる中、WCS用稲を転作作物の中心に位置付け、耕種農家と畜産農家との連携により、水田から良質の粗飼料生産を行い、作付面積の維持・拡大を図る。

ウ 加工用米

加工用米は地元焼酎蔵元への販売を中心に生産を行っており、今後も産地交付金を活用し生産の拡大を図っていくこととする。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦、大豆については生産性の高い優良品種への転換により収量・品質の高位安定化を図る。

飼料作物では、耕種農家と畜産農家の連携により水田からの良質の粗飼料生産（トウモロコシやイタリアン等）を今後も行う必要があるため、産地交付金を活用し資源循環の取組を支援する。

また、産地交付金を活用し二毛作の作付を支援することで作付面積、水田利用の維持・拡大を図る。

(4) そば、なたね

地域の実需者との契約に基づき、産地交付金を活用して二毛作の作付等の取組を支援し現行の栽培面積を維持・拡大する。

また、適切な排水対策を実施することとする。

(5) 高収益作物（園芸作物等）

メロン、イチゴなどの施設園芸作物を中心として生産拡大を図るとともに、産地交付金を活用し、オクラ、ブロッコリー、ズッキーニ及び甘長とうがらしといった高齢者でも取り組みやすい作物やその他野菜を地域振興作物として普及に努め、水田の不作付地の抑制にも努める。

また、花卉・花木等についても水田活用に効果的な作物であるため、今後とも支援を行い、作付面積の維持・拡大を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	284 1,417 t	285 1,422 t	285 1,422 t
加工用米	1.0	2.0	2.0
備蓄米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
飼料用米	0.2	1.0	2.0
WCS用稲	67.2	75.0	76.0
麦	15.9	16.7	16.8
基幹作	3.4	4.9	4.9
二毛作	12.5	11.8	11.9
大豆	0.7	1.3	1.4
飼料作物	135.5	159.0	160.0
基幹作	44.3	53.5	54.0
二毛作	91.2	105.5	106.0
そば	4.0	4.6	4.7
なたね	0.0	0.5	0.5
その他地域振興作物	52.9	53.5	54.0
野菜	44.6	46.0	46.5
オクラ	0.8	0.8	0.9
ブロッコリー	0.6	0.8	0.9
甘長トウガラシ	0.2	0.4	0.5
ズッキーニ	0.5	0.4	0.5
花き	4.2	4.5	4.5
雑穀	1.3	2.2	2.2
その他	0.7	0.8	0.8

※主食用米の目標値（2019、2020年度）において使用した単収は 499kg/10a

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				2018年度	2020年度
1	野菜、花き、雑穀 等	地域振興作物助成 （基幹）	作付面積	52.9ha	54.0ha
2	麦 大豆 飼料作物 そば	二毛作助成 （二毛作）	作付面積	麦 12.5ha	麦 11.9ha
				大豆 0.7ha	大豆 1.4ha
				飼料作物 91.2ha	飼料作物 106.0ha
			そば 4.0ha	そば 4.7ha	
			水田利用率	112.2%	115.3%
3	飼料作物 WCS用稲	資源循環の取組	取組面積	70.5ha	(84.2ha) 83.2ha
			取組率	34.8%	(39.5%) 39.1%

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。（目標値の上段括弧書きは変更前の数字。）